

情報公開用文書(藤沢市民病院で実施する医学系研究)

2025年 5月 28日作成

■研究課題名	腹腔鏡下子宮全摘術とロボット支援下腹腔鏡下子宮全摘術術後の創痛の比較
■研究の対象	2023年12月から2025年3月31日までに当院で早期子宮体癌に対してロボット支援下もしくは腹腔鏡下手術を実施した症例を対象とします。
■研究目的・方法	【目的】ロボット支援下腹腔鏡下子宮全摘術は、術者にとっては、3次元画像による拡大視野、広い可動域による繊細な操作、手ぶれの少ないカメラ・鉗子操作など、多数のメリットがある。またその繊細な手術操作は、患者さんへのメリットでもある。 しかし、当院で行っているロボット支援下手術は、従来の腹腔鏡下手術よりも、手術創が1つ多く、手術時間が長く、術中の頭低位が強いというデメリットがある。 今回は、ロボット支援下腹腔鏡下子宮全摘術と全腹腔鏡下子宮全摘術の術後創痛について評価した。 【方法】過去の診療録を参考に、2023年12月1日から2025年3月31日に当院で検体重量200g未満の子宮筋腫もしくは子宮腺筋症に対するロボット支援下ないし腹腔鏡下手術を実施した症例の背景や、手術成績、術後疼痛の有無について後方視的に検討した
■研究期間	倫理委員会承認日から 2025年 6月 14日まで
■研究に用いる 試料・情報の種類	当院診療録
■試料・情報の 取得と保管方法	データファイルについては、ネットワークから独立した院内のPCを使用し、共有サーバ内に保管する。
■外部への 試料・情報の提供	なし
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますので、下記連絡先まで電話またはFAXにてお申し出ください。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象いたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはございません。	
お問い合わせ先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先: 〒251-8550 藤沢市藤沢2丁目6番1号 藤沢市民病院 産婦人科 (研究責任者) 持丸 綾 電話番号:0466-25-3111(代表) FAX:0466-25-3545	